



創立40周年記念講演会を開催。写真左から、黒澤隆夫副学長、東郷重興理事長、北海道大学名誉教授・鈴木章先生、新川詔夫学長 [関連記事14ページ]

創立40周年を迎えて

理事長 東郷 重興

1974(昭和49)年に本学園が創立されてから40年を迎え、薬学、歯学、看護福祉学、心理科学、リハビリテーション科学の5学部を擁する医療系総合大学に成長しました。その目指すところは学生諸君がそれぞれの専門分野を超えて交流し、お互いに切磋琢磨する環境を整え、近年ニーズの多様化する医療現場を支えるプロフェSSIONALな医療人を育成することにあります。すべての学部学生に自分の専門外の分野についても「多職種連携カリキュラム」という講義の中で目を開かせるだけでなく、今後は病院での実地研修の中で教える、具体的には市中の大病院の中で色々な専門分野の医療人がチームワーク良く、仕事をしているかを見聞かせることが必要ではないかと考えています。

北海道医療大学は創立40年が経ち、ここまで成長することができました。しかし医療技術の進歩は益々早くなり、複雑化しています。医療系総合大学として、これからその特色をどう生かして行くのか問われていると思います。医療系総合大学としての幹に、これからどうやって枝をたくわえ、大木になっていくか、更なる教育力の充実を図らなければならないと考えています。

今後更なる飛躍を遂げるよう、改革、改善への努力を一層重ねていく所存でございます。関係各位の今後一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

学長 新川 詔夫

知育、徳育、体育の「三育」を建学理念として1974年に創立された本学は今年で開学40年目を迎えました。音別町時代の旧教養部や薬学部・歯学部の創立初期の労苦を経て、1985年から当別町がメインキャンパスの地となり現在に至っています。その後ほぼ10年毎に新分野の設立・拡充をはかり、創立20年を期して東日本学園大学から北海道医療大学へと大学名称を変更し、現在5学部8学科・研究科および専門学校に通う3,300名以上の学生と600名を超える教職員からなる医療系の総合大学となりました。また、17,000名以上の本学卒業生が社会の中枢として全国各地で活躍しております。

40年の節目の年に当たり、将来の日本の医療を支えていく本学学生たちのフロンティア精神を後押しするために、記念事業としてノーベル化学賞受賞者の鈴木章先生をお迎えして、過日学術講演会を盛大に開催しました。学生とともに聴衆一同も深く感銘を受けました。

本誌は40年間の本学の歩みを記録したものでございます。本学の現状とその目指すところをご理解いただければ幸いです。本学に対するみなさまの今後一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

CONTENTS

創立40周年を迎えて	1
創立40周年記念 誌上座談会	2
北海道医療大学 40年の歩み	10
創立40周年記念 講演会を開催	14
OG訪問 [創立30周年エッセイコンテスト優勝者]	16
○新任職員・昇任職員紹介	18
○北海道浦河高等学校と高大連携協定を締結	
○中山大学と本学歯学部が学術交流協定を締結	
○台北医学大学短期留学プログラムの報告会	19
○サハリン州副首相・保健省大臣が来学	
○アルバータ大学薬学部長が来学	
2015年度 入試概要	20
私の学生時代	22
○全国に先がけて大学病院で導入した 歯科技術が全国紙に	23
○眞島いづみさんとKabirさんが 台北医学大学で表彰	
○九十九祭開催	24
○YOSAKOIソーラン祭り部 ファイナル進出「優秀賞」受賞	
○クラブ戦績	25
○バドミントン部一部リーグ昇格	
○中国同済大学と交流協定を更新	26
○インド大使館科学技術部による本学視察	
○編集後記	